



ふたご通信

No.19

このたび、ネパールカトマンズの日本語学校（名北トレーニングセンタースケグラ校舎）を会場に、当組合員の社会福祉法人5法人の理事長様始め職員の皆様と5法人で働いている技能実習生のご家族15組をお迎えし、各法人別に懇談会を開催し、日本で働く実習生の近況や職場での様子をお伝えし、ご家族の皆様と直接言葉を交わす貴重な機会となりました。

実習実施者A様

3家族様との面談を通して、なによりも日本で元気に仕事をしている様子を写真で見れて本当によかったと感想をいただくことが出来た。あるご家族からは日本に行く前、他の国を勧めたことがあったが、日本のアニメが好きで娘は「絶対日本がいい」と日本に行った。そして今職場の人に温かく迎えられて仕事が元気にでき、日本のアニメも楽しめているようで本当に良かったと思っている。との言葉をいただいた。



実習実施者B様

2名のご家族様へ日本での生活ぶりや職場での様子を写真と共にお伝えしたところ、どちらのご家族様も大変喜ばれていました。日々家族との電話では「大丈夫」と気丈に話していた実習生たちですが、日本で大切にされると知り、ご家族は安心された様子で涙ぐまれておりました。その思いに触れ胸が熱くなり、受け入れの励みとなりました。このような貴重な機会をいただき心より感謝しております。

実習実施者C様

2期生2名、3期生3名の5家族様と直接お会いすることができ大変感謝しております。施設で働く様子や共に働く職員との写真を持参し、彼女たちの様子をお伝えした際、写真に写る我が子を撫でて喜んでくださっていました。ご家族からは、日本で優しく親切にしてもらっていることへの感謝の言葉や、将来の自分のために貯金をしっかりしてほしい、身体に気を付けてほしいといった温かいお気持ちもお伝えいただきました。



実習実施者D様

今回のネパール訪問で実習生のご家族とお会いできる機会を得まして、大変意義深いものがありました。面会初めは当方も、ご家族様も大変緊張されておられました。最初こわばった表情で実習生の日本での生活や介護と日本語の勉強に一生懸命とり組み、成長している話に聞き入って見えたが、次第に表情も緩み笑顔となって安堵される様子が伺われ、ご家族様から深い信頼をいただけたと思います。大切な娘さんを責任もってお預かりいたしている当方の思いに感謝の言葉をいただきました。

実習実施者E様

技能実習生のご家族の方と直接お会いし、遠く離れた日本で働く技能実習生に対する心配がひしひしと伝わりました。こうしたご家族の方と率直に会話することで「直接説明を受け、そして質問に答えてもらえて安心した。」と言っただけで、ご家族の心配を和らげる大変有意義な時間でした。

今回の懇談会を通じて、遠く日本へ子供を送り出して下さったご家族の思いに触れ、実習生一人ひとりを支えているのは、家族の温かい支えがあることを改めて実感いたしました。当組合としましても実習実施者の皆様と連携し、実習生が安心して技能を学び、ご家族の期待に応え、成長できる環境づくりに引き続き務めてまいります。

作文コンクール

テーマ：技能実習を振り返り経験したことによって感じたこと

優秀賞 氏名 ※ (入国日2024年9月2日)

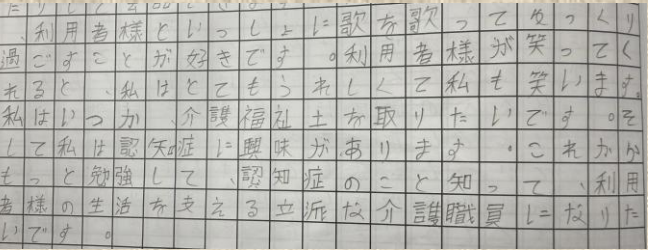
※個人情報保護のため氏名は控えております。

私はネパールから日本に来て介護の技能実習生として働いております。日本に来てから、1年3カ月になりました。今少し落ち着きましたが、来たばかりのときは毎日とても大変でした。来日したころ、私はお店に行っても日本語が全然わかりませんでした。スーパーやコンビニで、何が書いてあるか読めなくて、買い物もむずかしかったです。生活の全部が日本語で、不安な気持ちがたくさんありました。

介護の仕事も同じでした。職場では、書類、システムの使い方、仕事のやり方も、私は何もわかりませんでした。どうしたらいいか分からなくて、こわい気持ちもありました。日本人の職員に、自分から話すこともできませんでした。まちがえたらどうしようと思っていつも緊張していました。でも、日本人の職員からやさしく仕事のやり方と日本語を教えてもらいました。そんな中で利用者様や日本人の職員と一緒に時間を過ごしているうちに、利用者様の言葉や気持ちも少しずつ分かるようになりました。また、毎日同じことが練習しているうちに、できることが少しずつ増えていったのでうれしかったです。ある日、日本人の職員が私に「お花をつんできます」と言いました。私は、その言葉の意味がわからなくてびっくりしました。「どういう意味ですか?」と聞きました。そしたらそれはトイレに行ってきますという意味ということを知りました。日本語はむずかしいですが、おもしろいと思いました。今、私は1年3カ月たって、仕事の内容が前よりよくわかります。利用者様が言っていることも、前よりわかるようになりました。日本人の職員とも、たくさん話すようになって仕事が前より楽しくなりました。私は利用者様とゆっくり話す時が一番好きです。食事の時は利用者様と一対一になるので、「今日は〇〇ですよ」「何から食べますか」と説明したりして会話できます。お風呂介助のときは、利用者様といっしょに歌を歌ってゆっくり過ごすことが好きです。利用者様が笑ってくれると、私はとてもうれしくて私も笑います。私はいつか、介護福祉士を取りたいです。そして私は認知症に興味があります。これからもっと勉強して認知症のこと知って、利用者様の生活を支える立派な介護職員になりたいです。

審査員のコメント

実習生活の説明が中心で、うれしかったことや大変だった事実がきちんと書いていました。日本語の独特な言い回しなど日常生活での体験談が高評価でした。



「ふたご協同組合伝言板」

この度の介護福祉士試験において、当組合員の法人様ネパール人材8人(うち6人が1回合格)が見事に合格されました。日々の業務と向き合いながらの学習を重ねてこられた努力が実を結んだことに、心より敬意を表します。資格取得されたことは介護の質を更に高め、利用者様の安心へと繋がることでしょう。また、昨年実施された日本語能力試験において建設系の実習生の皆さんもN3に3人・N4に12人の方が合格されました。本人達の努力はもとより実習実施者様にも深く敬意を表し、今後の更なるご活躍を心より期待申し上げます。

ふたご通信第19号 2026年4月発行

発行元 ふたご協同組合

所在地 北名古屋九之坪梅田68番地1
電話 0568-65-6071
FAX 0568-65-6073
WEB www.futago-coop.org
※当組合のホームページは →
(リニューアル中のため、更新までしばらくお待ちください。)